

環境活動レポート

(2016 年 10 月～2017 年 9 月)

2017 年 10 月 03 日

ヨシムラ環境整備株式会社

1. 組織の概要

(1) 事業者名：ヨシムラ環境整備株式会社

(2) 代表者：代表取締役 吉村 学

(3) 設立：昭和 55 年（1980 年）10 月 1 日

(4) 資本金：320 万円

(5) 所在地：

本社・工場：広島市安佐北区安佐町久地堀切山 10625 番地 10

(6) 事業内容：

産業廃棄物収集運搬及び処分業

(7) 事業の規模

①売上高および工事件数等

項 目		単 位	2016 年度
売上高		百万円	85
産業廃棄物処理量	収集・運搬	トン	1276
	中間処理	トン	1242

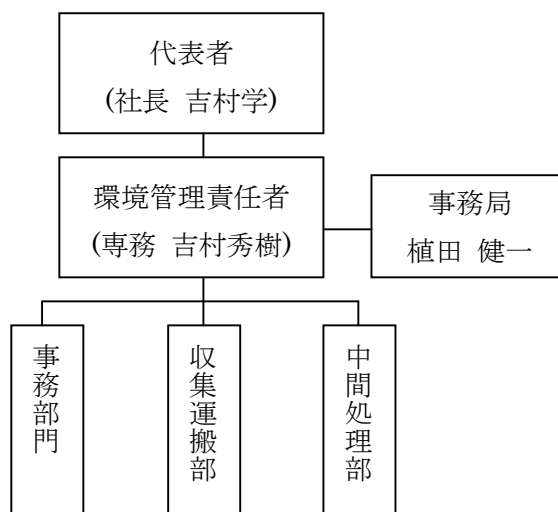
(注) 事業年度：10 月～翌年 9 月（エコアクション 21 運用年度も同じ）

②従業員数：7 人

③床面積：本社事務所 29 m² 、工場・作業所等 702 m²

(8) 連絡先：環境管理責任者 吉村 秀樹（TEL:082-837-1841）

(9) 組織図



2. 対象範囲（認証登録範囲）

全組織・全活動を対象範囲とする。

3. 環境方針

本業である廃棄物処理を適正かつ安全に行うとともに、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

1. 環境影響に配慮した事業活動の推進

①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。

②中間処理業務における再資源化率の向上に努めます。

③節水、グリーン購入に努めます。

2. 法規則等の遵守

事業に関係する諸法令、規則、地域協定を順守し廃棄物の適正処理に努めます。

制定日： 2015 年 1 月 20 日

改定日： 2016 年 4 月 1 日

代表取締役社長 吉村 学

4. 環境目標、環境活動計画、環境目標の実績

(1) 環境目標

環境への負荷の自己チェックの結果などを踏まえて「環境目標」を以下のとおり定めました。

項 目		2016 年度	2017 年度	2018 年度
電気使用量の削減 [基準：9,258kwh]		△4% 8,886 kwh	△5% 8,795 kwh	△6% 8,702 kwh
化石燃料 使用量の 削減	灯油 [基準：4,705 ℓ]	△3% 4,563 ℓ	△4% 4,516 ℓ	△5% 4,469 ℓ
	ガソリン [基準：5,191 ℓ]	△3% 5,035 ℓ	△4% 4,983 ℓ	△5% 4,931 ℓ
	軽油 [基準：30,665 ℓ]	△3% 29,745 ℓ	△4% 29,438 ℓ	△5% 29,131 ℓ
電気及び化石燃料使用に伴う 二酸化炭素排出量の削減 [基準：110,909kg-CO2]		△3% 107,581kg-CO2	△4% 106,472kg-CO2	△5% 105,363kg-CO2
再資源化率の向上 [基準：64%]		70%	72%	74%
節水 [基準：77 m ³]		△4% 74 m ³	△5% 73 m ³	△6% 72 m ³
グリーン購入の推進		1 品目以上	2 品目以上	3 品目以上

(注) 1. 「基準値」は、2013 年度の実績値である。

2. 一般廃棄物は、排出量が少ないことから削減目標は設定していないが、分別等の取組は徹底することとしている。

3. 化学物質は使用していない。

(2) 2016 年度の環境目標達成状況

項 目		単 位	目 標 値	実 績	評価
電気使用量の削減		kwh	8,886	6,224	○
化石燃料使用量の削減	灯油	ℓ	4,563	4,950	×
	ガソリン		5,035	5,322	×
	軽油		29,745	33,327	×
電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素	kg-CO ₂	107,581	116,627	×
再資源化率の向上		%	70	54	×
節水		m ³	74	55	○
グリーン購入の推進			1 品目以上	1 品目	○

上記、電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量実績は、116,627kg-CO₂ となり、目標値に相当する二酸化炭素排出量 107,581kg-CO₂ に対し、108.4% との結果となった。(購入電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力の 2013 年度の排出係数 0.719kg-CO₂/kwh を使用した。)

5. 主要な環境活動計画の内容と取り組み結果の評価、次年度の取組内容

環境目標の項目毎の環境活動計画の内容と取り組み結果の評価を以下に示します。

(1) 電気使用量の削減

空調の適正温度管理や不要照明をこまめに消すなどにより電気使用量の削減に取り組みました。また破砕機をこまめに停止させるなどの取り組みの結果、目標を達成することができました。引き続き年間目標の達成に向けて、節電の取り組みを徹底するとともに、年度終了後には 1 年間の実績を見て環境目標の変更について検討します。

(2) 化石燃料使用量の削減

① 化石燃料の使用に伴う二酸化炭素排出量は、2016 年度実績で全体の 96.16%を占めるため、その削減は重要課題と考えています。

② 灯油を使用する重機の省エネ運転やアイドリングストップの励行に心がけました。しかし再資源化率向上を目的とした分別時の重機使用の増加により、目標を達成することができませんでした。引き続き年間目標の達成に

向けて、取り組みを徹底していきます。

月別達成率が低かったため、次年度目標は据え置きとしました。

- ③ 営業車のガソリン使用量については、アイドリングストップの励行や急発進・急加速をしないなどのエコドライブを心がけたものの、営業活動の増加に伴い目標を達成できませんでした。今後も注意喚起等を行い年間目標の達成に向けて取り組みを徹底していきます。

月別達成率が低かったため、次年度目標は据え置きとしました。

- ④ 収集運搬車両及び重機が使用する軽油については、収集運搬件数の増加や、重機の新規購入などに伴い目標を達成できませんでした。今後も年間目標の達成に向けて、取り組みを徹底するとともに、年度終了後には、1年間の実績を見て環境目標の変更について検討します。

重機追加のため基準年度との単純比較はできませんが、今年度は月別達成率が低かったため、次年度目標は据え置きとしました。

（３）産業廃棄物再資源化の徹底

弊社の取り扱う主な産業廃棄物は、廃プラスチック類と金属くずで、これらは自社処分場で分別後再資源化しています。そのほかの廃棄物についても、分別の徹底により再資源化に努めています。

分別が一部徹底できず、また再資源化出荷先の分別基準の上振れにより最終的な再資源化率を押し下げる結果となりました。重機及び手作業により、分別精度を上げ、再資源化率の向上に努めます。

（４）節水

業務全般にわたる節水運動を展開した結果、目標を達成できました。今後も年間目標の達成に向けて、取り組みを徹底していきます。

（５）グリーン購入の推進

目標値は達成しました。引き続きグリーン購入に取り組むこととし、来年度の年間目標を設定しました。

（６）その他の活動

会社周辺の清掃活動を実施しております。



写真 清掃活動の様様

6. 環境関連法規制等の遵守状況

適用される主な環境関連法規制は廃棄物処理法です。遵守評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間、当局からの違反の指摘や訴訟もありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境方針、環境目標を定め、従業員全員で取り組んだが多くが未達成であった。原因は仕事量の増加によるところもあるが、環境、リサイクル率向上について、従業員全員で現実的な目標設定に見直す必要がある。

8. 廃棄物処理業に関する情報

(1) 許可の内容

①一般廃棄物

なし

②産業廃棄物

a 許可品目

許可品目	収集運搬業(上段:許可年月日 下段:有効年月日)						処分業
	広島市	広島県	山口県	岡山県	島根県	鳥取県	広島市
	H25.10.12 H30.10.11	H25.11.24 H30.11.23	H26.10.13 H31.10.12	H25.10.1 H30.9.30	H25.9.19 H30.9.4	H25.9.1 H30.8.31	H27.7.19 H32.7.18
燃え殻	○ *1	○	○				
汚泥	○ *1	○	○	○	○	○	
廃油	○	○	○	○	○	○	
廃酸	○ *1	○	○				
廃アルカリ	○ *1	○	○				
廃プラ類	○	○	○	○	○	○	○
紙くず	○	○	○	○	○	○	○
木くず	○	○	○	○	○	○	○
繊維くず	○	○	○	○	○	○	○
ゴムくず	○	○	○	○	○	○	○
金属くず	○	○	○	○	○	○	○
ガラスくず等	○	○	○	○	○	○	○
がれき類	○	○	○	○	○	○	

*1 積替保管を含まない

b 許可番号

管轄	許可の種類	許可番号
広島市	産業廃棄物収集運搬業	07310010149
	産業廃棄物中間処理業	07320010149
広島県	産業廃棄物収集運搬業	3409010149
山口県	産業廃棄物収集運搬業	03500010149
岡山県	産業廃棄物収集運搬業	03301010149
島根県	産業廃棄物収集運搬業	3200010149
鳥取県	産業廃棄物収集運搬業	03104010149

c 事業の区分

産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物中間処理業 中間処理(破碎)

(2) 施設等の状況

①設備概要

車両台数

車種	台数	備 考
8t脱着装置付コンテナ車	2 台	
8tクレーン付ダンプ車	1 台	
4tクレーン付平ボデー車	1 台	
4tダンプ車	1 台	
3t脱着装置付コンテナ車	1 台	
3tパワーゲート車	1 台	
1.5tパワーゲート車	1 台	
合 計	8 台	なお別途営業車両1台あり

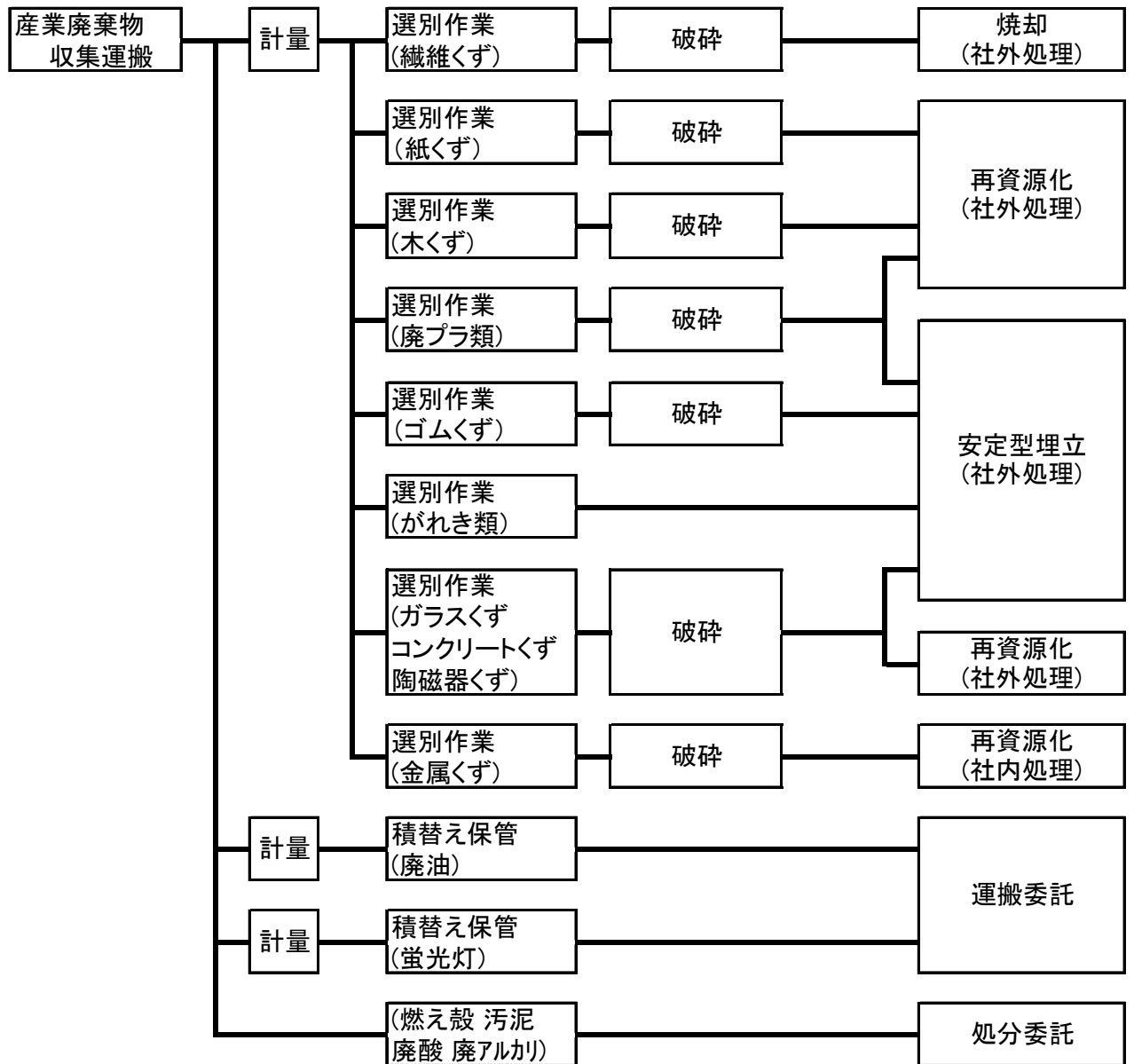
主要設備

名称	台数	備考
2軸せん断破砕機	1 基	
40tトラックスケール	1 基	
2tフォークリフト	3 台	
0.25m3 バックホウ	3 台	16年度 1台追加

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
ヨシムラ環境整備(株)	64.15 m ²	1.8 m	

処理工程図



(注) 処理能力は、廃プラスチック類 4.72t/日、紙くず 4.08t/日、木くず 4.72t/日、繊維くず 2.72t/日、ゴムくず 4.4t/日、金属くず 4.96t/日、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず 4.4t/日(8H)

(3) 処理実績

2016年度(2016年10月～2017年9月)

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(i)収集運搬		コンクリートくず		27.1
		廃油		12.24
		金属くず		494.592
		ガラス陶磁器くず		5.58
		紙くず		6
		廃プラ類		553.24
		木くず		140.75
		繊維くず		0
		ゴムくず		0
		がれき類		35.82
		燃えがら		0
		汚泥		0
		廃酸		0
		廃アルカリ		0.84
		石綿含有廃棄物		0.15
収集運搬量合計				1276.312
(ii)中間処理		コンクリートくず	破砕	29.77
		金属くず	破砕	510.311
		紙くず	破砕	6
		廃プラ類	破砕	540.047
		木くず	破砕	156.52
		繊維くず		0
		ゴムくず		0
	うち 再資源化等		金属くず	
		廃プラ類		0
		コンクリートくず		0
		紙くず		6
		木くず		156.52
再資源化等量小計			672.831	
中間処理合計				1242.648
(iii)最終処分				
最終処分量合計				0
(iv)中間 処理後の 産業廃棄物	最終処分	廃プラ類		540.047
		コンクリートくず		29.77
		ゴムくず		0
		繊維くず		0
	再資源化等	金属くず		510.311
		廃プラ類		0
		コンクリートくず		0
		紙くず		6
		木くず		156.52
		再資源化等量小計		
中間処理後処分量合計				1242.648